

大崎短歌会 兼題『七五三・自由』

玉砂利のぴょんぴょんぴょんと心跳ね

七五三の児らよ青空のもと

井元かず子

稚児と稚女成長祝う七五三

集う宝児 都満のお宮に

実吉安仁

七五三古いアルバムに亡母の顔

川崎健一

親子宮参り昔を想う

柳山重子

七五三着物の裾を引きずりて

山下海征

千歳飴手に満面の笑み

馬場みさ

孫の手に引かれて歩む杜の道

穂園芳江

七五三祝う列に混ざりて

川崎健一

七五三まろき手握り宮参る

柳山重子

七五三祝う子供の集落に

山下海征

一人もいないこのさびしさよ

馬場みさ



寝坊する窓を開ければ煌々と
朝日は高く我を見下ろす

言はれし友よお変わりなきや

坂元つる子

凄ぜ長げが生きつちよいから 婆ん風呂
(唱) 観けば暢気き 体操どんしつ

西ノ園ひらり

凄ぜ怖じ 鰻上いの防衛費

井上三ちゃん

凄ぜ笑るた婆ん総入歯や ひつ落れつ

佐藤ぼつけちゃん

(唱) 戰争ん道づば走らせんかよ

西ノ園ひらり

薩摩御句 兼題『凄ぜ』

凄ぜえ兄弟魂しゆ揺さぶい津軽三味線

凄ぜ笑るた婆ん総入歯や ひつ落れつ

佐藤ぼつけちゃん

(唱) 身震れしつ聴つ全部の聴衆

(唱) 笑るときや口ちい手を添えやんせ

佐藤ぼつけちゃん

凄ぜこつ外ちも出られん熊被害

凄ぜ笑るた婆ん総入歯や ひつ落れつ

佐藤ぼつけちゃん

(唱) 出も入もならじ生活ち困つ

(唱) 笑るときや口ちい手を添えやんせ

佐藤ぼつけちゃん

凄ぜ怖じ逆走車と出合せつ

凄ぜ笑るた婆ん総入歯や ひつ落れつ

佐藤ぼつけちゃん

(唱) 目の前へ車逃げざつも無し

(唱) 笑るときや口ちい手を添えやんせ

佐藤ぼつけちゃん

凄ぜ怖じ逆走車と出合せつ

凄ぜ笑るた婆ん総入歯や ひつ落れつ

佐藤ぼつけちゃん

凄ぜ怖じ逆走車と出合せつ

凄ぜ笑るた婆ん総入歯や ひつ落れつ

佐藤ぼつけちゃん

凄ぜ怖じ逆走車と出合せつ

凄ぜ笑るた婆ん総入歯や ひつ落れつ

佐藤ぼつけちゃん

凄ぜ怖じ逆走車と出合せつ

凄ぜ笑るた婆ん総入歯や ひつ落れつ

佐藤ぼつけちゃん

(唱) 立派なもんじや男も敵わん

(唱) 立派なもんじや男も敵わん

佐藤ぼつけちゃん

子供の斜視がスマホん見過ぎ凄ぜ増つ

(唱) 立派なもんじや男も敵わん

佐藤ぼつけちゃん

子供の斜視がスマホん見過ぎ凄ぜ増つ

(唱) 立派なもんじや男も敵わん

佐藤ぼつけちゃん

(唱) ど人も立派籠で決むかい

(唱) ど人も立派籠で決むかい

佐藤ぼつけちゃん

子供の斜視がスマホん見過ぎ凄ぜ増つ

(唱) ど人も立派籠で決むかい

佐藤ぼつけちゃん

満石うらら